29









Automobile Technology
自動車工

自動車の多様な装置の点検・診断・修理などを実施

自動車工の競技は、与えられた課題に従い、エンジンやブレーキの分解・組立て、測定・点検・修理、エンジン制御、電気装置の故障診断などを行い、その技術力と技能を競い合います。競技は、7課題あり、競技時間が60～120分（計720分）、2日間で7課題をローテーションします。現代の自動車は、最新技術が集約された精密機械であり、点検・診断・修理には高度な専門知識と技術・技能が求められます。「自動車工」は、こうした自動車の高度化に対応できる人財を育成するため、若者が実践的なスキルを身につける絶好の機会となっています。



＜2025年大会 競技風景＞

競技職種と生活との関わり

最新技術が集積された精密機械である自動車は、安全に早く快適に人や物資を輸送する手段として、現代の私たちの生活に欠かすことができないものです。時代とともに技術が進歩しており、高度な技術なくしては点検、診断、修理もできません。技術の高度化に対応するために、自動車整備の体制を確立し、強化することは自動車産業界の重要な課題です。自動車工技能者は、最新の技術を修得し、車に乗る人の安全、快適走行をサポートする重要な役割を担います。

迅速かつ確実に！
技術革新に適応する自動車工技能者たち

競技課題を迅速かつ確実に行うことができるかどうかがポイントです。ハイブリッド車両や電気自動車、自動運転車両への移行など、様々な技術革新と変化が進んでいますが、人間社会にとって車は今後とも重要な役割を果たし続けるでしょう。自動車工技能者は、迅速かつ確実に課題に取り組むことで、車に乗る人の安全、快適走行をサポートする重要な役割を担っています。そのために必要な技能が込められた競技です。

岩田 裕次 主査　JA共済損害調査株式会社



前回大会金メダリストからメッセージ！

［所属：日産自動車株式会社　カスタマーサービスセンター］

高尾 翔太 さん

金メダル受賞で
見た景色や
感じた想いは、
誰もが経験できる
ものではありません。
ぜひ皆さんも挑戦し
続けてください！



前回大会
金メダリスト
インタビュー！